

# 平成21年度事業報告書

## 平成21年4月1日～平成22年3月31日

### 1. 概要

平成21年度は、①環境測定技術の開発・改良及び体系化の推進と、測定値の信頼性確保のため環境測定機の品質向上と技術の検証、②環境測定技術及び測定機器維持管理技術の普及・向上を図るための講習会の開催、③環境大気常時監視技術に関する資格制度の創設、④環境測定技術の分野における国際協力等、種々の活動を推進した。

主な取り組みとしては、

- ・環境技術実証事業「VOC簡易測定技術分野」について、当協会が実証機関とし事業を実施した。
- ・新規事業では、環境測定機器の維持管理に関する資格認定制度の一環として、環境大気常時監視データの信頼性確保のために、環境大気常時監視の維持管理や精度管理、データ管理業務等における技術継承や技術力の維持向上を目指した「環境大気常時監視技術者試験制度」をスタートさせた。
- ・技術講習会については、永年開催の水質計測器維持管理講習会、環境大気常時監視技術講習会の内容充実に加え、新たに排水処理関係者を対象とした「pH計を始めとする排水管理計測器の基礎知識と維持管理技術講習会」をスタートさせた。
- ・その他、国際環境協力の分野においては、中国北京連絡事務所の活動を推進するとともに、環境測定技術分野の各種受託事業等を実施した。
- ・公益法人制度改革については、常務委員会が中心となり、公益社団法人化の検討を行い、その結果をもとに、理事会及び総会において協議検討を行った。

また、昨年は、協会創立30周年の節目の年にあたり、6月に虎ノ門パストラルにおいて記念祝賀会を開催した。会員と関係各位の交流のもと、次の10年に向けて、新たな活動と役割を再認識する有意義な機会となった。

### 2. 事業実施状況

#### (1) 総会・理事会

第1回通常総会 21.6.19 (金)	場 所 議 題	東京都港区・虎ノ門パストラルホテル 1. 第1号議案 平成20年度事業報告(案)承認の件・可決 2. 第2号議案 平成20年度収支決算(案)承認の件・可決 3. 第3号議案 役員(理事)選任の件・可決
第2回通常総会 22.3.17 (水)	場 所 議 題	東京都港区・機械振興会館 1. 第1号議案 平成22年度事業計画(案)承認の件・可決 2. 第2号議案 平成22年度収支予算(案)承認の件・可決 3. 平成22年度各委員会及び部会等の委員構成(案)について・可決 4. 公益法人制度改革について
第1回理事会 21.6.19 (金)	場 所 議 題	東京都港区・虎ノ門パストラルホテル 1. 第1回通常総会に付議する議案の先議・原案とおり承認 2. 平成21年度部会等の委員構成(案)について・可決 3. 代表者連絡会・技術交流会について 4. 公共施設見学会について
第2回理事会 21.9.25 (金)	場 所 議 題	横浜市・横浜テクノタワーホテル ファミール 1. 平成21年度前期事業活動状況(中間報告) 2. 賛助会員B・Cの入会の申込み・承認 3. 平成21年度後期予定事業について 1) 水質計測機器維持管理講習会 2) 環境大気常時監視技術講習会 4. 公益法人制度改革について

第3回理事会 22.1.15(金)	場 所 議 題	東京都港区・機械振興会館 1. 公益法人制度改革について 2. 中国北京連絡事務所の設置継続について 3. 平成22年度の事業計画に向けての検討について 1) 主要行事日程 2) 事業計画策定のための検討事項 4. 排水管理における計測器の基礎知識と維持管理技術講習会について
----------------------	------------	--

第4回理事会 22.3.17(水)	場 所 議 題	東京都港区・機械振興会館 1. 審議事項；第2回通常総会に付議する議案の先議・原案とおりの承認 3. 平成22年度各委員会及び部会等の委員構成(案)について・可決 3. 賛助会員の入会の申込み・承認 4. 委員会の設置及び運営に関する規則の改正(案)承認の件 5. 公益法人法改革について 6. 環境大気常時監視技術者試験実施計画について
----------------------	------------	---

## (2) 創立30周年記念祝賀会

期 日	6.19(金)
場 所	虎ノ門パストラル
次 第	・開会 ・会長挨拶 ・来賓祝辞(関係官庁、(社)大気環境学会、(社)日本水環境学会)
出席者	協会会員、役員、常務委員、部会委員ほか

## (3) 代表者連絡会及び技術交流会

第1回 (代表者連絡会) (技術交流会)	期 日 場 所 議 題 内 容	7.3(金) 東京都港区・ニッショーホール (1) 平成21年度第1回理事会の及び総会の審議概要等 (1) 講演；水環境と化学物質 (2) pH計、UV計、COD計の点検方法及び良否の判定基準について 1) 各計器の点検方法及び良否の判定基準 2) 総合意見交換
----------------------------	--------------------------	---

第2回 (技術交流会)	期 日 場 所 内 容	12.4(金) 東京都港区・機械振興会館 (1) 講演；環境大気常時監視技術者試験制度の創設と第1回試験 (2) PM2.5自動測定機の精度管理、維持管理について 1) PM2.5自動測定機の精度管理、維持管理の基本的な考え方 2) メーカーサイドから考えるPM2.5自動測定機の精度管理、維持管理 3) 維持管理サイドから考えるPM2.5自動測定機の精度管理、維持管理 4) 総合意見交換
----------------	-------------------	--

## (4) 事業実施状況

(1) 中国北京連絡事務所(日中友好環境保全センター日中協力事務局)の運営  
開設4年度を迎え、次の業務を実施した。

- ① 環境情報等の収集及び調査、照会等の業務
- ② 調査、照会等業務
- ③ 日中水質モニタリングセミナーに関する企画・折衝

(2) 調査・研究等業務  
次の業務を実施した。

- ① 揮発性有機化合物(VOC)対策功労者表彰事業に係る調査等業務
- ② 環境技術実証事業VOC簡易測定技術分野実証機関業務
- ③ 団塊世代による途上国への環境技術移転促進事業

(3) 環境大気常時監視技術者試験

当協会による資格認定制度として、第1回試験を実施した。

- ① 初級技術者試験 東京・大阪 7.18(土) 受験者数486名
  - ② 専門技術者試験 東京・大阪 7.18(土) 受験者数254名
  - ③ 主任技術者試験 大阪 11.5(木)～6(金) 東京11.10(火)～11(水) 受験者数57名
- ※合格者数及び合格率等は、当協会ホームページで公表

(4) 環境測定技術の指導・普及に関する業務

次に掲げる各講習会を開催した。なお、新規事業として排水管理での計測器に焦点を当てた講習会を開始した。

①水質計測機器維持管理講習会

開催月 10月  
場所 東京、名古屋、神戸、広島  
受講者 143名

② 環境大気常時監視技術講習会

開催月 11月  
場所 東京、大阪  
受講者 101名

② 排水管理での計測器の基礎知識と維持管理技術講習会

開催月 2月  
場所 東京  
受講者 61名

(5) 常務委員会・各部会・委員会等の活動状況

- ① 常務委員会 9回
- ② 運営委員会
  - ・事業部会 3回 他に分科会等(水質部会合同) 4回
  - ・海外部会 1回 他に分科会・幹部会 5回
  - ・広報部会 4回
- ③ 技術委員会
  - ・水質部会 3回 他に分科会(上記事業部会に掲載)
  - ・大気部会 2回 他に分科会 1回
  - ・化学物質部会 1回
  - ・酸性雨部会 1回
  - ・維持管理部会 2回

(6) 環境大気常時監視維持管理資格認定制度についての検討会

開催回数 4回  
検討内容・技術者試験の試験問題の検討・作成  
・主任技術者試験の面接試験の実施  
・制度に係るルール、合格基準の設定等

(7) 刊行物発行・ホームページ及び情報公開

- ① 協会創立30周年記念誌の刊行
- ② 広報誌「かんぎきょう」の発行
- ③ 環境大気常時監視実務推進マニュアル「第二版」の発行
- ④ 水質自働計測機器維持管理マニュアルの発行
- ⑤ ホームページの更新

協会の講習会等の開催計画や会員に対する情報を拡充するとともに、協会の事業計画、事業報告等の情報の公開に努めた。